

(参考)

費用対効果分析の結果

1. 完了後の評価（事後評価）における費用対効果分析手法の考え方

事後評価における費用対効果分析は、事前評価の効果算定手法（総費用総便益比方式）に準じ、評価時点の実績を踏まえて行うこととしている。

総費用については、当該事業費、関連事業の事業費、当該事業の受益地域内において一体的に効用が発揮される施設の評価期間に発生する再整備に要する事業費の合計額等により算定している。

総便益については、事業を実施した場合と実施しなかった場合を比較して効果項目別の年効果額を算定し、その年効果額を評価期間内の年度ごとに積み上げた合計額をもって算定している。

なお、事後評価時点において、新たな効果の発現が確認された場合、できる限りその効果の定量的な把握に努め、貨幣化が可能な効果については計測し年効果額として計上している。

2. 分析結果

(単位：百万円)

事業名	地区名	国営等 事業費	事後評価時点			備考
			総費用	総便益	総費用 総便益比	
国営かんがい排水事業 ① 国営かんがい排水事業	あつさぶがわ 厚沢部川	39,882	173,065	192,982	1.11	
	てしおえんがん 天塩沿岸	20,620	40,976	51,401	1.25	
	ひのがわようすい 日野川用水・ ひのがわようすい 日野川用水(二期)	63,623	266,147	279,006	1.04	
② 直轄明渠排水事業	サルバ	1,947	2,914	4,621	1.58	
	こままき 駒牧	938	1,153	2,126	1.84	
国営農用地再編整備事業	びばうし 美葉牛	6,871	17,130	19,082	1.11	
国営総合農地防災事業	あばしりがわじようりゅう 網走川上流	9,398	16,801	17,540	1.04	
	つるいだい 鶴居第1	2,682	3,171	4,243	1.33	
直轄地すべり対策事業	いたくら 板倉	19,909	40,028	53,499	1.33	
	じんせきこうげん 神石高原	6,763	10,984	37,752	3.43	
森林総合研究所事業	ねむろとうぶ 根室東部	4,634	7,421	10,555	1.42	
	おおすみちゆうおう 大隅中央	20,960	32,277	54,750	1.69	